

2020

第27号

春

もりまち通信

社会福祉法人 長崎市社会福祉事業団長崎市障害福祉センターだより



春号の主な内容

2～3ページ：児童発達支援センター さくらんぼ園 単独通園部門
自立訓練（機能訓練）事業の紹介

職員紹介：自立訓練サービス管理責任者・理学療法士 吉村 優子
さくらんぼ園 栄養士 中村 智子

今回の表紙は、仮設駐車場整備前のテニスコートから見た桜の木ともりまちハートセンターの風景です。

その子らしさ

長崎市障害福祉センター診療所 小児科医 柴田富美子

長崎市障害福祉センターに勤めてもうじき 8 年になります。スタッフの方々の協力があってなんとか診療を続けてこれたと感じています。

8 年というと幼児期に出会った子ども中学生になります。成長と共に抱える悩みや問題も変わります。近頃生じた問題のようでも、遡って視点を変えると原因が見えてきて問題を改善できることがあります。こうした問題解決の助けになるような本を最近手にしました。

育児や発達障害に関する多数の著書がある児童精神医佐々木正美先生の新書『子どもの心はどう育つのか』です。すでに、1996年に出版された本を復刊したもので、エリクソンのライフサイクルモデルをもとに子どもの心の成長、そして人の成熟について解りやすく語られています。

エリック・H・エリクソンは発達段階を 8 つに分け、人にはそれぞれの段階に応じた発達課題があり、それを乗り越えながら、精神的に成長していくことを論じています。

小児科医が関わりを持つ時期の発達主題としては、乳児期は基本的信頼と安全の感情、幼児期は自律性、児童期は自発性・積極性、学童期は勤勉性、思春期は集団同一性が挙げられています。各発達段階の獲得に飛び級はないとしています。この理論によると乳児期は人の一生の根幹となるものだと言えるのではないのでしょうか。

乳児期に関してもう少し触れると、0～2歳では人を信じる豊かな信頼感を身につけることを提唱しています。人を信頼する力を育てるためには、乳児期にどれくらい自分が望んだことを望んだように十分してもらえたかということが大事と書かれています。これによって子どもは安全感を得ることができ、人を信じる力と同時に自分を信じる力も身につけていくと記されていて大変参考になります。

乳児期から現在までそれぞれの発達段階を順に確認し、それぞれのお子さんらしさを尊重できるように、皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

単独通園部門



さくらんぼ園ってどんなところ？

小学校に就学する前のお子様を通う1クラス10名程度の療育クラスです。さくらんぼ園では、お子様一人一人に応じた様々な遊びや活動、季節の行事を通して、運動や認知、コミュニケーション、集団生活に必要な力等を育て、お子様の成長発達を支援しています。また、食事や着替え、排泄など基本的な生活習慣を身につけられるようご家庭と連携して取り組んでいます。

- ・ぱんだ組、うさぎ組、ぞう組の3クラスがあります。
- ・毎週水曜日は親子療育（プール活動）を行います。
- ・一人一人に合わせた形態で給食を提供しています。
- ・通園バスは、北部、西部、東部方面に3コース運行しています。



一日の流れ

- 10:00 登園
 - 健康観察
 - 自由遊び（絵本・運動遊び他）
- 10:30 朝のお集まり
 - 挨拶・シール貼り・体操他
 - 設定遊び
 - サーキット・製作・音楽遊び他
- 11:50 給食
 - 歯磨き
- 13:00 自由遊び
 - 運動遊び・コーナー遊び・5階広場
- 14:00 帰りのお集まり
 - 手遊び・絵本/紙芝居・挨拶

活動の様子(療育支援)



←朝と帰りに各クラスでお集まりをします。写真はその時の様子です。



プレイルームで身体を動かして遊びます。右の写真はボールプールで遊んでいる様子です。



←毎年、各クラスで消防署見学に行きます。

活動の様子(保護者支援)

ペアレントトレーニング



ほめる子育てを目指して子育てをするためのコツをグループで楽しみながら学びます。

家族教室



月に1回、講師の方をお招きしてお話をしていただき、育児や療育に関する情報を提供しています。また、保護者様同士の交流の場にもなっています。

自立訓練（機能訓練）事業

地域生活を営む上で、身体機能や生活能力の維持、向上等のため、一定の支援が必要な障害のある方に対して、専門スタッフによるリハビリテーション、生活等に関する相談、及び助言などの支援を行う障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスです。利用される方のニーズをもとに個別の支援計画を立て、その方らしい自立した生活や社会参加を支援していきます。

主な訓練とサービス内容



個別訓練 視覚障害リハビリテーション 調理訓練



送迎サービス 屋外活動 バス乗車訓練

●利用できる方

65才未満で、地域で生活している障害のある方(身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方など)が対象です。
※視覚障害リハビリテーション(点字、白杖歩行訓練など)に関しては、65才以上の方も対象となります。

●利用期間

障害福祉サービス受給者証に記載された期間となります。標準利用期間は1年6カ月です。(頸髄損傷による四肢麻痺等の場合は、3年)

●利用料

機能訓練サービス費(厚生労働大臣が定める額)の1割が自己負担で、所得に応じて負担上限額が定められています。18才以上で住民税非課税対象であれば自己負担額はありません。



自立訓練(機能訓練)事業担当スタッフ

自立訓練(機能訓練)事業では、いつでもご相談を受け付けております。お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ：TEL095-842-2525
FAX095-842-2568

長崎市障害福祉センター自立訓練(機能訓練)担当まで

ワンポイント手話講座

青色



右手のひらをほおに軽く当て、そのまま後ろに引く

黄色



親指と人差し指を立てた右手の親指を額に当て、人差し指を時計方向に振る

おめでとう(祝う)



すぼめた両手を上に向けてぱっと開く

職 ◆ 員 ◆ 紹 ◆ 介

① 仕事の内容

主に3階の成人利用者様のリハビリをお手伝いしています。集団体操やスポーツレクリエーション、個別訓練、その他、週に1回はプール体操も担当しています。



② 趣味・特技

小学校4年生から12年間バレーボールをしていたのでバレーボールが大好きです。昨年、自治会の活動で25年ぶりにバレーボールができてとても楽しかったのですが、

わずか5cm程のジャンプの着地で、膝を痛めてしまいました。

(▽)

③ いま気になっていること

最近、おなかまわりの成長が著しく、娘の中学校の入学式に着ていく服があるのか心配です。



自立訓練サービス管理
責任者・理学療法士
吉村 優子

① 仕事の内容

さくらんぼ園に通園されているお子様に給食を作っています。食べ方や成長の様子を見ながら、栄養について保育士の先生や保護者の方と連携を取りながら支援しています。

② 特技・趣味

趣味・特技はたくさんあったのですが、日々の生活に追われて思い出せません。

③ いま気になっていること

まずは使いづらいと日々思っているスマートフォンのiphoneをアンドロイドに戻してみようかな。



さくらんぼ園 栄養士
中村 智子

【交通費助成について】

交通費助成の引き換えは4月8日(水)からの予定です。引き換えハガキをご持参ください。詳しくは「広報ながさき4月号」をご覧ください。

【プール定期点検のお知らせ】

プールの定期点検が6月に予定されています。その間2週間ほどプールが使用できない期間があります。ご迷惑おかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

【4月～7月のイベントスケジュール】

講座名	日にち	場所
大人のぬり絵講座	5/15・29、6/12・26 7/10・17 13:30～15:30 すべて金曜日	社会適応 訓練室
水泳記録会	5月21日(木) 9:00～12:00	プール
笑いヨガⅠ [前期]	6月29日(月) 13:30～15:00	軽スポーツ室
ポッチャ大会	7月1日(水) 9:00～12:00	体育室
お楽しみ講座Ⅰ 【劇団ちゃんぽん】	7月3日(金) 14:00～15:30	軽スポーツ室
着物着つけ講座 【ゆかた編】	7月7日(火) 10:00～11:30	軽スポーツ室

※詳細につきましては、電光掲示板又は1階窓口等にてご確認ください。

【休館日】

毎月第4日曜日 … 4/26、5/24、6/28

編集後記：今回はさくらんぼ園と自立訓練(機能訓練)事業について紹介しました。自立訓練(機能訓練)事業では、いつでもご相談受付いたしますので、お問い合わせください。

【ご寄附・ご寄贈いただきましてありがとうございます】

・令和2年2月26日スーパーDステーション女神店様よりご寄附を頂きました。当センターの新型コロナウイルス感染拡大予防対策として、体温計や除菌タオル等の購入に使わせて頂きました。



・令和2年3月18日長崎商工会議所女性会様よりシャワー用車いす1台、レインボーアーチトンネル1台をご寄贈いただきました。大切に使用させていただきます。



発行：社会福祉法人 長崎市社会福祉事業団 広報委員会
住所：〒852-8104 長崎市茂里町2-41
TEL：095-842-2525 FAX：095-842-2568
ホームページURL：<http://www.nc-swc.or.jp>
発行日：令和2年4月1日